

復活!! 奥出雲 輝く未来のために

合併当初16,000人あったわが故郷の人口は、今や13,000人を切り、少子高齢化も加速して1年間に出生する子供の数も70人以下になりました。どの業界も働き手不足が深刻になり経済基盤も揺るぎ始めています。高齢化社会に立ち向かい、町民の皆様と私の掲げる目標を共有して町政発展のために全力を注ぎます。

- 医療福祉環境の充実
- 質の高い教育システムの構築
- 多くの意見が集約される仕組みづくり
- 既存産業の振興と新しい産業の創出
- 人口減、定住対策
- 観光資源の充実と広報

プロフィール

昭和31年8月28日生まれ
 昭和55年 岡山大学法文学部卒業
 昭和58年 岡山大学大学院文学研究科修士課程修了

平成9年～ 臨濟宗妙心寺派 蔭涼寺住職
 平成25年～30年 社会福祉法人仁多福祉会理事長
 平成11年～30年 特別養護老人ホームあいサンホーム施設長



まつもと
松本けんじろう
六十二才

6つの目標

ひたすら一心入魂 すべては奥出雲の元気のために

これが、未来への道標

1 誰もが安心できるまちづくり

- ・小規模・中小企業の振興、後継者・産業の育成(古民家オフィス、プレミアム商品券、奥出雲バル、小規模事業者事業継続支援)
- ・住みたい田舎ランキング(小さなまち部門)全国22位に!(宝島社H30版)

- 医療・介護サービスの充実、高齢者が安心して暮らせる環境を
- 若者・女性が活躍でき、住み続けたいと思えるまちへ
- 命・生活・定住・観光を支える道路の計画的整備、公共事業の推進

2 奥出雲を愛するひとづくり

- ・県内東部最安保育料(モデル世帯)・病児保育スタートの実現
- ・県内下位から県平均以上へ学力向上&全小学校で英語を先行実施

- 子育て支援のさらなる充実、出会い・結婚から一貫して応援へ
- U・ターン&町内子育て世代向け宅地・住宅整備
- 教育環境(冷房・タブレット等)の充実、幼小中高教育魅力化の推進

3 活力を生むしごとづくり

- ・東京、埼玉に奥出雲町ブランドのレストラン開店
- ・観光協会の法人化 ・小水力発電所3カ所開設
- ・町などの支援による起業・創業件数2件(H27)→7件(H29)

- 仕事と家庭が両立しやすい働きやすい職場環境への支援
- 日本・世界農業遺産登録申請中 農林畜産物のさらなるブランド化
- 地元企業の求人情報を町出身者も含め発信し、マッチング支援

4 未来が描けるきばんづくり

- ・将来へツケを回さない! 借金残高244億(H25末)→217億(H29末)
- ・ふるさと納税増への積極的な取組み 約0.4億円(H26)→約3億円(H29)
- ・住まいや仕事・移住・定住の窓口「まち・ひと・しごとセンター」の開設
- ・奥出雲町への転入出がH30年度3ヶ月連続プラス!

- 各地区で生活を支える小さな拠点づくり
- 雇用と経済を支える第三セクターの安定経営



かった
勝田やすのり

投票日 9月9日(日)

(投票時間 午前7時～午後5時または午後6時 *投票所によって終了時刻が異なります)

期日前投票は、

- 役場仁多庁舎または役場横田庁舎のどちらでもできます。
- 9月5日(水)～8日(土)のそれぞれ午前8時30分から午後8時まで行うことができます。(入場券をお持ちください)

